

反対討論

議席番号4番、一志会 宮下繁明です。

ただいま議題となっております「議案第12号 令和6年度千曲市一般会計予算の議定について」、反対の立場から討論いたします。

反対要旨は以下4点であります。

まず一点目

今から2年前令和4年3月に小川市長の指示で策定された市の最上位計画である「第3次千曲市総合計画」における令和6年度の財政計画は予算額262億2,700万円としたのにもかかわらず、今回の6年度予算案では309億5,000万円と47億2,000万円も多い過去2番目の大型予算となっております。何のための「総合計画」なのでしょう。

現在進められている大型事業の事業費は、「一重山2号線39億円」、「屋代スマートIC24億円」、「新戸倉体育館61億円」、「市民球場23億円」、ほか「防災拠点道の駅」「屋代地区の公共施設(公民館、図書館等)」など、未確定のものも含めると概算で200億円以上になると思われます。果たして健全財政が維持できるのか、第二の夕張市になるのではないかと、憂慮するものであります。

二点目

屋代地区の開発は全体の事業計画が無いまま道路やスマートICの建設が始められており、一番大事な事業の「費用対効果の検証」がなされていない点であります。

令和元年に市が長野経済研究所に委託した「屋代地区開発に関する波及効果」の調査では、投資判断の基準として35ヘクタール全体が開発された場合の固定資産税を年間2億円、30年間で60億円の収入があるとしておりました。

一方、開発に係る費用は、①初期投資で最大12億5,000万円、②維持管理費で(道路、上下水道で8億5,000万円、スマートIC負担金5億円、国道403号線負担金3億円)16億5,000万円、③その他都市基盤整備に関するもので15億円としており、開発に係る費用は合計で最大45億円としておりました。

以上から本事業に係る事業収支は、収入60億円から支出45億円を引いて15億円の黒字となるというのが投資判断の基準でした。

しかし、一重山2号線やスマートICの費用が概算で40億円以上増額されたため、現段階では当初の見込みが大きくはずれ大幅な赤字となることが確実であります。

市長は、「稼ぐ地域にする」「自主財源の涵養のために必要である」としているが、いくら稼ぐのか、いくら税収が上がるのかの説明がありません。これでは「稼ぐ」どころか「莫大な赤字となる」ことは明白であります。

三点目

市道一重山2号線の先線としての都市計画道路「一重山線」の整備見通しが全くない点であります。

「一重山2号線」と「スマートIC」が完成しても、先線の整備がなされなければ屋代地区の渋滞は解消しないことは明白であります。

市は、覚悟を示して先線の整備を国や県にやっってもらおうと答弁してい

るが、要望に対する国、県の反応は鈍く、厳しいと聞き及んでおります。

私は先日、地元の方の案内で一重山線の予定地を視察しました。一重山をトンネルで通し、しなの鉄道を越えることは技術的に困難であり、莫大な費用と事業期間を要することを改めて認識しました。一重山線の先線の整備は、現実的ではなく不可能に近いと思います。田んぼの中の道を作るだけでも18億円が一年で39億円に増えました。果たして、今のまま多額の市費を投入して屋代地区の開発をする意味があるのか疑問であります。議員各位には是非現地に足を運び自分の目で見、現実を知って欲しいと思います。

四点目

市長は、スマートICの建設によって「人・モノ・文化」を市内全域に波及するとしておりますが、どのように波及するのかその内容について具体的な説明がありません。

「産業連携道路ネットワーク構想」なるものの通りに川西地区の八幡・更級・上山田へつながる時期はいつになるのでしょうか。ルートも決まらず計画も無いものが現実できるのでしょうか。全線の開通は今のところ全く見通せません。今のネットワーク構想は「夢物語」であり、まさに「絵に描いた餅」であります。

私は民間の中小企業の経営に30年以上携わって来ましたが、その間多額の借金の返済に苦しんだ経験があります。先日日経平均株価が34年ぶりに史上最高値を更新しましたが、大企業は別として中小企業の経営環境は円高、原料高、人手不足によって非常に厳しいのが実態です。実質賃金と実質可処分所得は前年を下回っています。個人でも企業でも市でも

同じです。実力以上の過大な借金は負の遺産であり、決して将来世代に残してはならないと思います。市長の千曲市の未来を思う姿に全て異議を唱える訳ではありません。しかし、2年前に自ら作った「財政計画」をつ否定するようなズサンな内容の予算を全会一致で認めてしまえば、市民が議会に期待する「市政へのチェック機能」は形骸化してしまいます。

以上、「民間の経営の視点」から反対の要旨を申し上げましたが、議員各位におかれましては「議会の存在の原点に立って」よろしくご賛同賜りますようお願い申し上げます、私の反対討論といたします。